

財政状況について

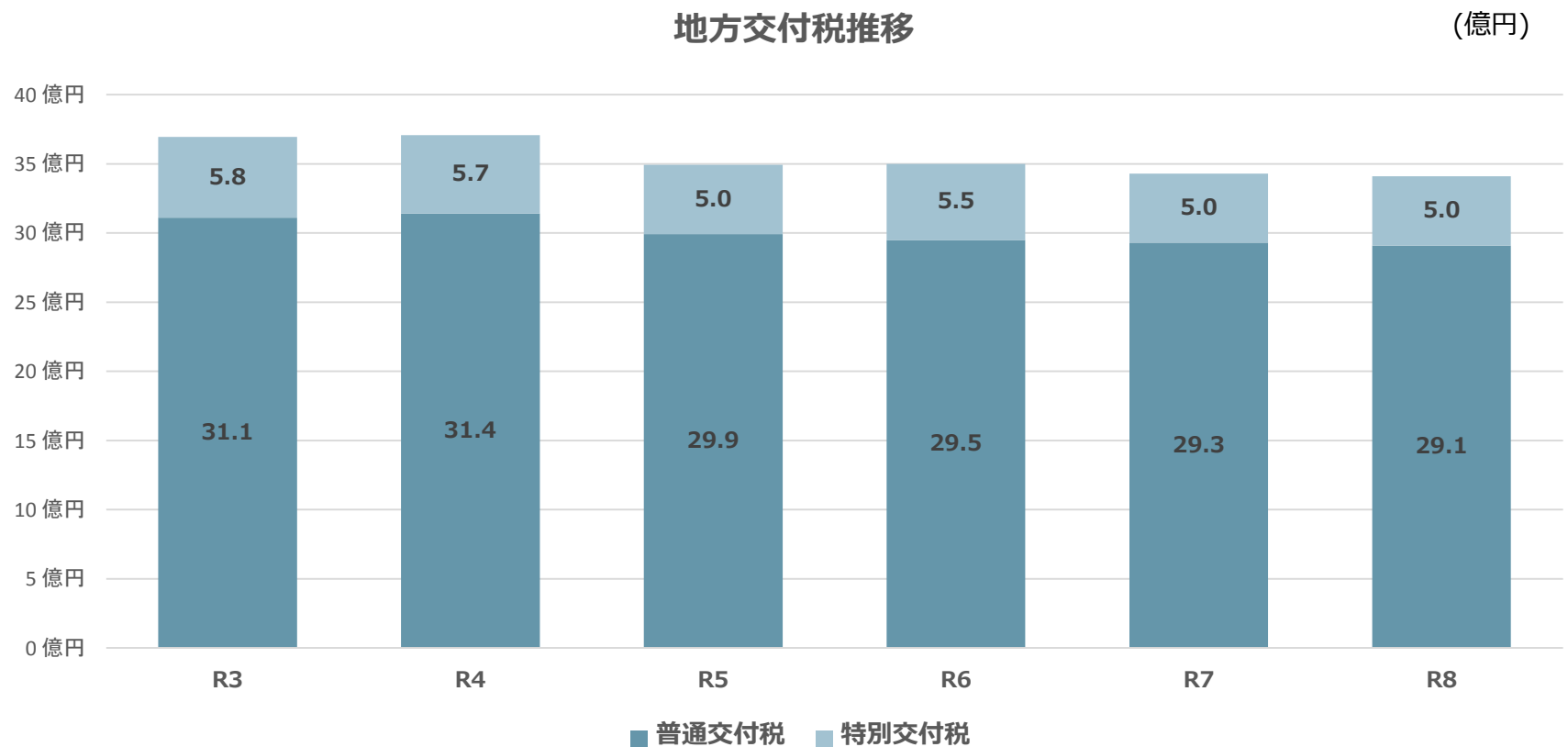
企画財政課

財政状況について－ 歳入の状況 －

(千円)

	R3		R4		R5		R6		R7		R8	
	決算額	構成比	決算額	構成比	決算見込額	構成比	決算見込額	構成比	決算見込額	構成比	決算見込額	構成比
自主財源	1,829,141	21.4%	2,242,018	27.4%	2,245,311	28.3%	2,213,872	28.1%	2,131,100	26.8%	2,188,280	29.6%
町税	1,025,768	12.0%	1,184,645	14.5%	1,239,000	15.6%	1,201,140	15.2%	1,244,900	15.6%	1,253,600	17.0%
分担金及び負担金	59,089	0.7%	71,237	0.9%	55,000	0.7%	49,627	0.6%	59,000	0.7%	50,000	0.7%
使用料及び手数料	222,310	2.6%	208,118	2.5%	200,000	2.5%	206,134	2.6%	200,000	2.5%	200,000	2.7%
財産収入	26,081	0.3%	27,292	0.3%	25,000	0.3%	23,745	0.3%	22,000	0.3%	22,000	0.3%
寄付金	145,233	1.7%	211,976	2.6%	230,000	2.9%	272,201	3.5%	270,700	3.4%	300,000	4.1%
繰入金	176,249	2.1%	235,049	2.9%	166,700	2.1%	363,650	4.6%	270,600	3.4%	299,000	4.0%
繰越金	104,705	1.2%	211,640	2.6%	265,969	3.4%	20,000	0.3%		0.0%		0.0%
諸収入	69,706	0.8%	92,061	1.1%	63,642	0.8%	77,375	1.0%	63,900	0.8%	63,680	0.9%
依存財源	6,716,117	78.6%	5,926,242	72.6%	5,681,589	71.7%	5,668,128	71.9%	5,824,200	73.2%	5,206,020	70.4%
地方譲与税	72,599	0.8%	71,467	0.9%	71,000	0.9%	71,976	0.9%	71,000	0.9%	71,000	1.0%
利子割交付金	537	0.0%	329	0.0%	300	0.0%	300	0.0%	300	0.0%	300	0.0%
配当割交付金	2,726	0.0%	2,396	0.0%	2,500	0.0%	2,300	0.0%	2,500	0.0%	2,500	0.0%
株式等譲渡所得割交付金	3,305	0.0%	1,926	0.0%	2,000	0.0%	2,000	0.0%	2,000	0.0%	2,000	0.0%
法人事業税交付金	11,778	0.1%	15,927	0.2%	17,000	0.2%	15,000	0.2%	17,000	0.2%	17,000	0.2%
地方消費税交付金	237,169	2.8%	236,527	2.9%	239,000	3.0%	230,000	2.9%	239,000	3.0%	239,000	3.2%
ゴルフ場利用税交付金	278	0.0%	607	0.0%	600	0.0%	500	0.0%	600	0.0%	600	0.0%
自動車取得税交付金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
自動車税環境性能割交付金	4,857	0.1%	6,147	0.1%	6,000	0.1%	6,000	0.1%	6,000	0.1%	6,000	0.1%
地方特例交付金	109,478	1.3%	2,728	0.0%	3,059	0.0%	3,000	0.0%	3,000	0.0%	3,000	0.0%
地方交付税	3,696,178	43.3%	3,707,130	45.4%	3,492,741	44.1%	3,500,000	44.4%	3,350,000	42.1%	3,250,000	44.0%
交通安全対策交付金	870	0.0%	869	0.0%	800	0.0%	800	0.0%	800	0.0%	800	0.0%
国庫支出金	1,201,557	14.1%	916,904	11.2%	543,350	6.9%	490,146	6.2%	469,930	5.9%	443,950	6.0%
道支出金	514,430	6.0%	376,337	4.6%	347,770	4.4%	322,206	4.1%	309,570	3.9%	307,070	4.2%
町債	860,355	10.1%	586,948	7.2%	955,469	12.1%	1,023,900	13.0%	1,352,500	17.0%	862,800	11.7%
歳入合計	8,545,258	100%	8,168,260	100%	7,926,900	100%	7,882,000	100%	7,955,300	100%	7,394,300	100%

- ・ 歳入については、依存財源の割合が70～75%前後と高い水準となっている。
- 自主財源増加の仕組みを強化。
- ・ その中でも地方交付税の割合が約45%と歳入全体の半分近くを占めており、今後も人口の減少が見込まれることから、地方交付税は減少傾向となる見込み。



地方交付税の算定には、様々な要素があるが、算定に大きく関係しているのが人口の増減となっている。人口算定には国勢調査の人数が基礎数値となっており、次のR7国勢調査では、7,600人前後(R2国勢調査 8,442人)と減少が見込まれることから、R8以降は経過措置はあるものの普通交付税の減少が大きくなることが予想される。

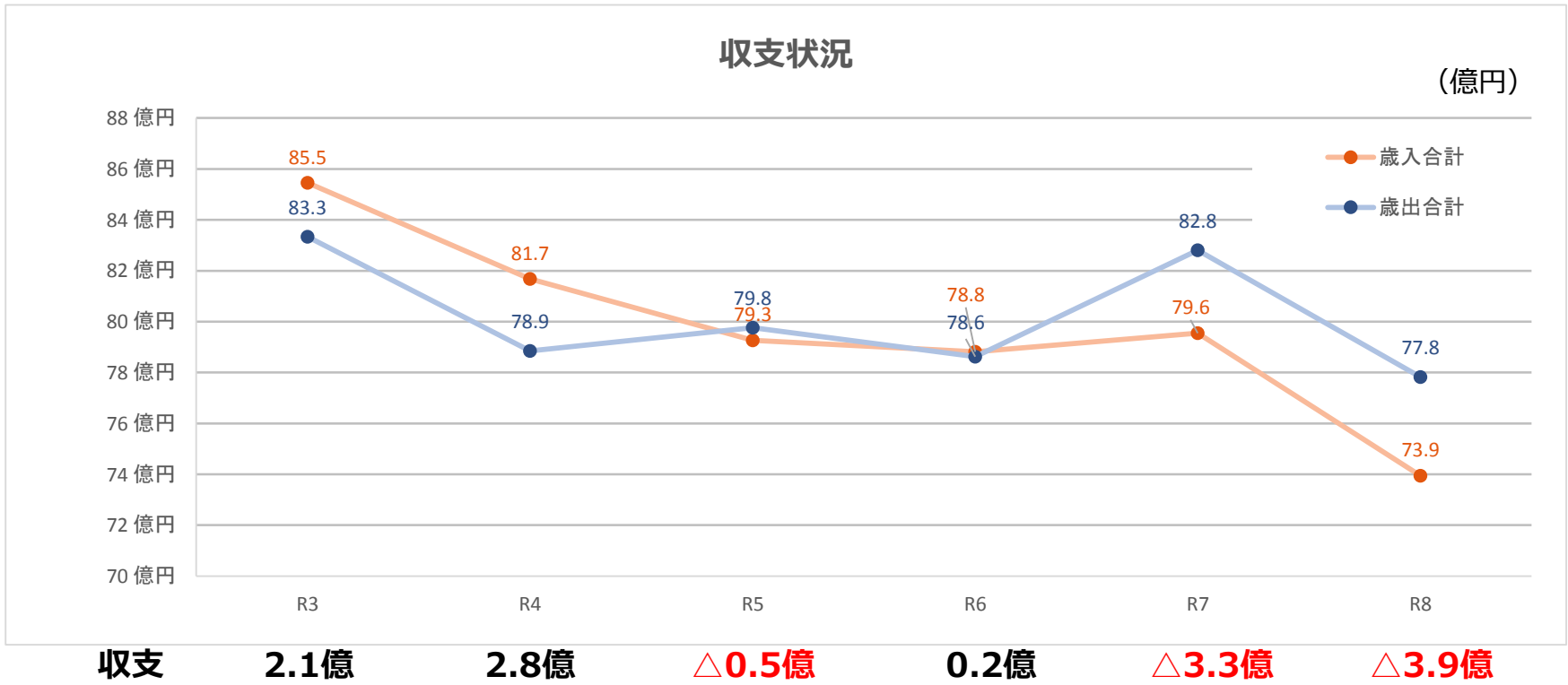
財政状況について－ 歳出の状況 －

(千円)

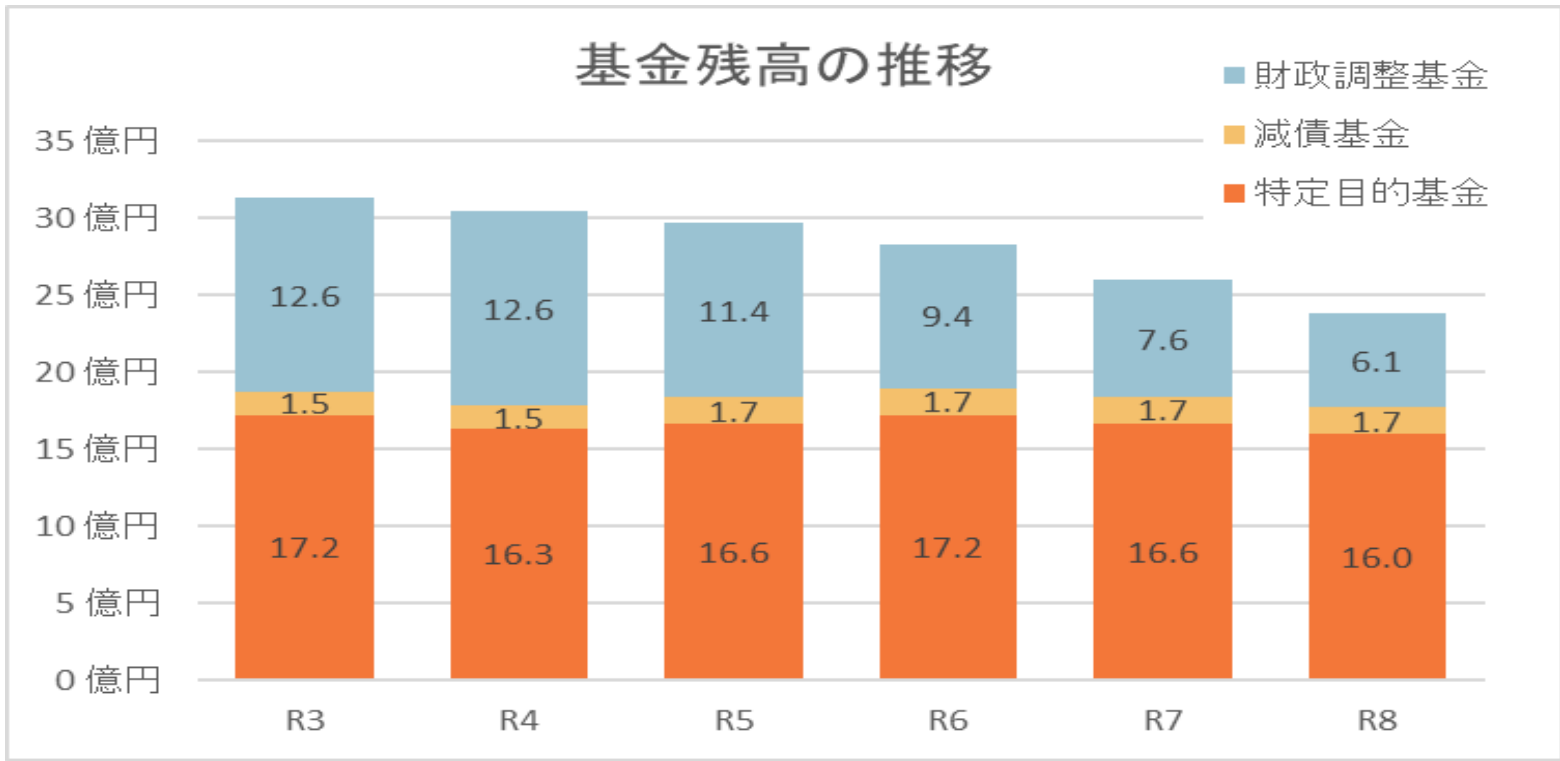
	R3		R4		R5		R6		R7		R8	
	決算額	構成比	決算額	構成比	決算見込額	構成比	決算見込額	構成比	決算見込額	構成比	決算見込額	構成比
義務的経費	3,378,915	40.5%	3,418,695	43.4%	3,214,043	40.3%	3,283,362	41.8%	3,383,585	40.9%	3,424,113	44.0%
人件費	1,463,357	17.6%	1,537,776	19.5%	1,533,000	19.2%	1,595,444	20.3%	1,577,000	19.0%	1,533,000	19.7%
扶助費	1,011,827	12.1%	903,050	11.5%	730,000	9.2%	737,164	9.4%	700,000	8.5%	700,000	9.0%
公債費	903,731	10.8%	977,869	12.4%	951,043	11.9%	950,754	12.1%	1,106,585	13.4%	1,191,113	15.3%
任意的経費	4,954,703	59.5%	4,466,669	56.6%	4,761,857	59.7%	4,578,638	58.2%	4,896,715	59.1%	4,358,187	56.0%
物件費	1,121,417	13.5%	1,116,894	14.2%	1,100,000	13.8%	984,379	12.5%	1,365,000	16.5%	990,000	12.7%
維持補修費	109,964	1.3%	139,419	1.8%	150,000	1.9%	108,633	1.4%	150,000	1.8%	150,000	1.9%
補助費等	1,479,966	17.8%	1,548,446	19.6%	2,213,900	27.8%	1,933,144	24.6%	1,575,100	19.0%	1,690,000	21.7%
普通建設事業費	1,003,375	12.0%	501,814	6.4%	487,000	6.1%	664,058	8.4%	964,475	11.6%	666,620	8.6%
災害復旧費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
積立金	216,036	2.6%	138,730	1.8%	192,957	2.4%	234,283	3.0%	224,140	2.7%	243,567	3.1%
投資及び出資金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
貸付金	8,000	0.1%	8,000	0.1%	8,000	0.1%	8,000	0.1%	8,000	0.1%	8,000	0.1%
繰出金	1,015,945	12.2%	1,013,366	12.9%	610,000	7.6%	646,141	8.2%	610,000	7.4%	610,000	7.8%
合 計	8,333,618	100%	7,885,364	100%	7,975,900	100%	7,862,000	100%	8,280,300	100%	7,782,300	100%

- ・ 人口規模における決算額が大きすぎる(R3類似団体決算額 6,783,368 千円)
- ・ 地方債の新規発行額増加に伴い、全体予算に占める割合が増加傾向にある。
- ・ 物件費については、公共施設の解体に伴い増加傾向にあり、施設集約の改修工事等の進捗によっては見込以上の費用増加も考えられる。
- ・ 人件費についても、類似団体(R3 1,136,471千円)と比較すると高くなっており、特に会計年度任用職員が増加傾向にあるため、適正な人員配置を考慮する必要がある。

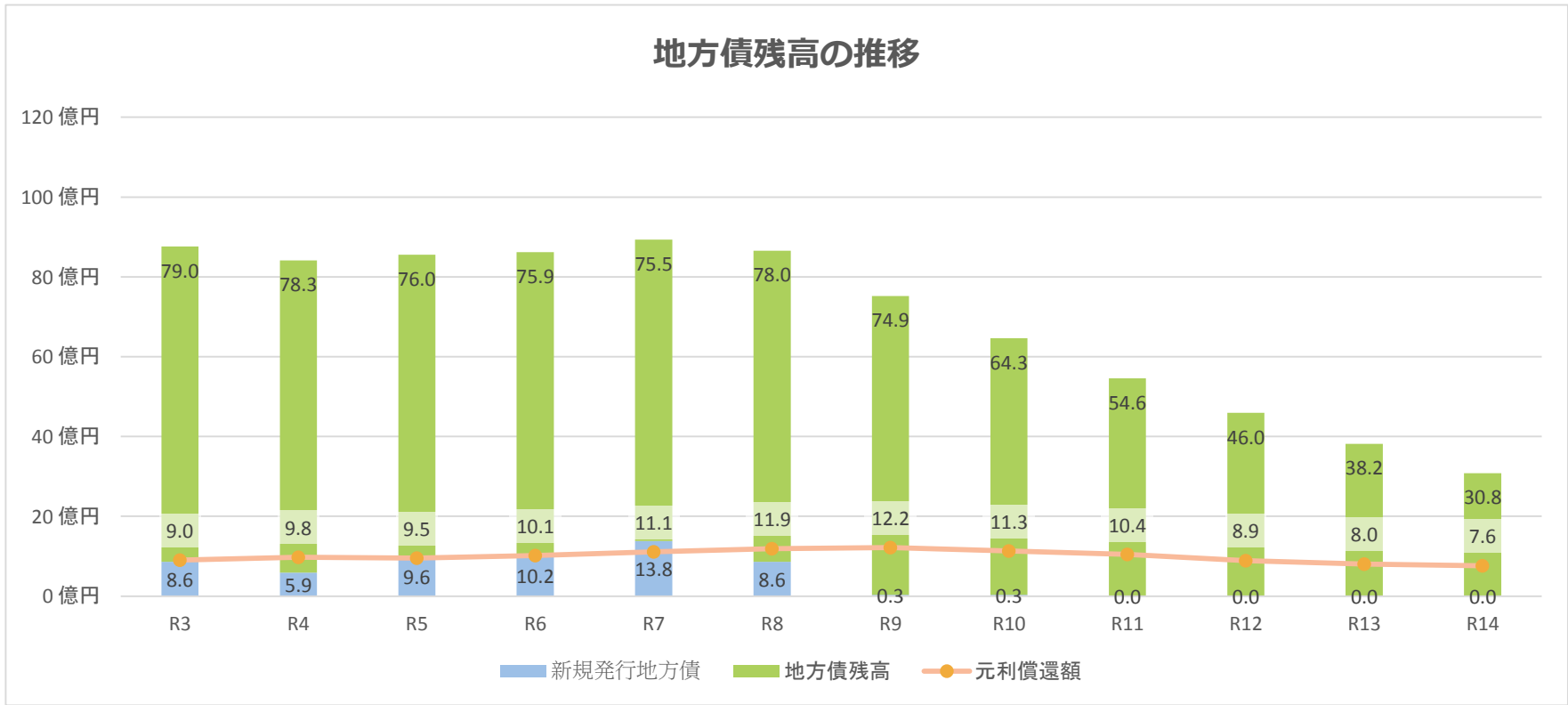
財政状況について – 歳入歳出の収支状況 –



・ R5以降の収支は赤字になる見込みであり、基金を取崩して予算編成をせざるを得ない状況となっている。
→このような収支状況だと基金の積立は難しく、基金残高(5 p 参照)が大幅に減少することが考えられる。



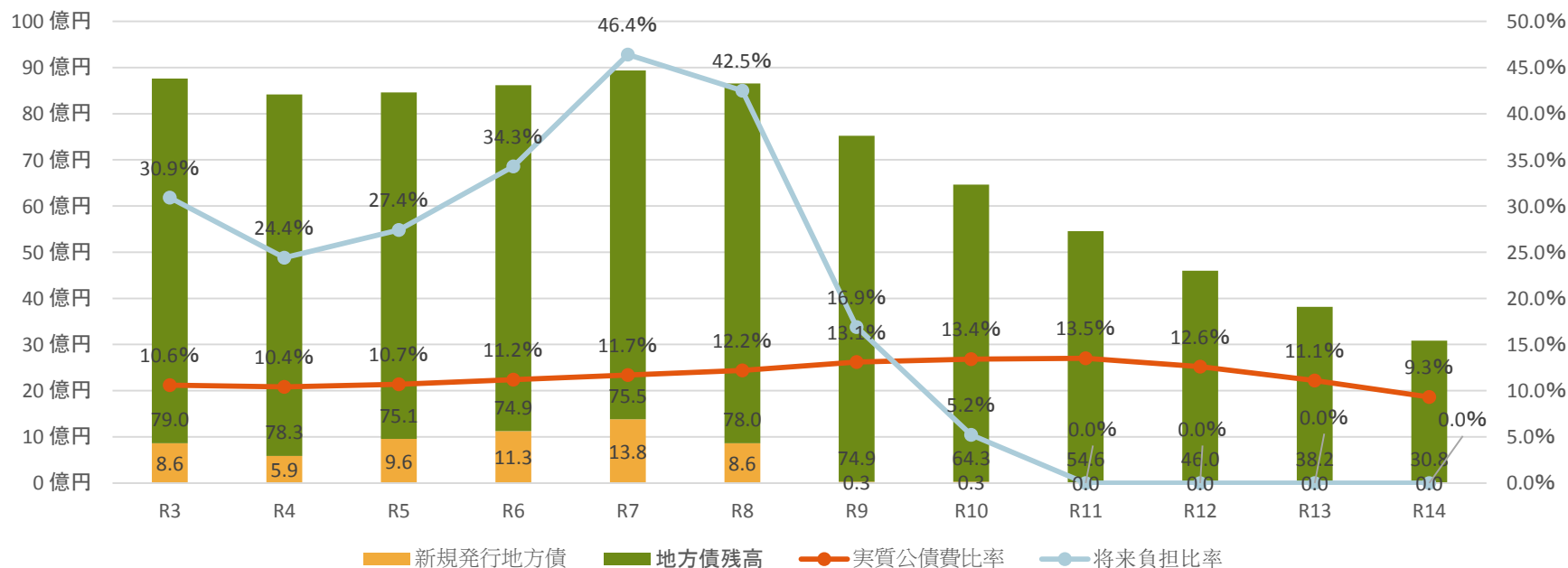
・ R5以降基金の取崩しを行うと、R8までに財政調整基金は約6億円ほど減少する見込み。
(R5～R8比較)



- ・ 公債費については、地方債残高は減少してはいるが、近年発行額が増加している。
- ・ 発行額の増加に伴い、元利償還額・実質公債比率も増加となり、圧迫された財政運営となることが予想される。

財政状況について－ 実質公債比率・将来負担比率の推移 －

実質公債比率・将来負担比率の推移



- ・ 地方債発行額の増や基金取崩し額の増により実質公債比率・将来負担比率は増加傾向にある。
- ただしR8以降の地方債発行額は未定のため積算していないことから、将来負担比率は減少傾向となっている。
- ・ 増加幅を抑制、減少傾向にするためにも行財政改革を進め事業の見直しが必須。

【財政状況における課題】

